

【議案 1】

第 6 9 回全国植樹祭式典会場の 配置について

式典会場に関するこれまでの経過と今後の予定

<これまでの経過>

全国植樹祭第5回福島県準備委員会（平成27年1月30日）

- 式典会場候補地を「原町（萱浜・雫）」地区とした。

⇒ 事務局において具体的な配置の検討をする。

<今後の予定>

- 1 第69回全国植樹祭福島県実行委員会第2回総会（平成27年11月24日）
 - 式典会場配置案の決定。
- 2 （公社）国土緑化推進機構による第69回全国植樹祭会場決定に係る現地調査（平成27年12月1日予定）
- 3 県と（公社）国土緑化推進機構の協議、共同記者発表（平成27年12月2日予定）
 - 式典会場配置の決定。
- 4 会場整備（平成27年12月～）
- 5 宿泊輸送計画の検討（平成28年4月～）

全国植樹祭福島県準備委員会における報告

海岸防災林の造成や農地の復旧の様子に加え、復興の拠点などを見てもらえ、南相馬市と調整し、円滑に会場整備が出来ることから、「原町(萱浜・雫)」地区を式典会場候補地とした。

<原町地区(萱浜・雫)>



凡例
 海岸防災林

検討内容	かいばま しどけ 原町(萱浜・雫)地区
1 復興に向けて県民が力強く歩み続ける姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを発信できること。	海岸防災林の造成や農地の復旧の様子に加え、復興の拠点※などを見てもらうことができる。 ※浜地域農業再生研究センター、福島県環境創造センター、南相馬市放射線対策総合センター
2 南相馬市との調整	事業の進捗などから円滑に実施できる。
3 会場整備が円滑にできること	土地取得が円滑で、工事の進捗率が高い。

会場の配置検討

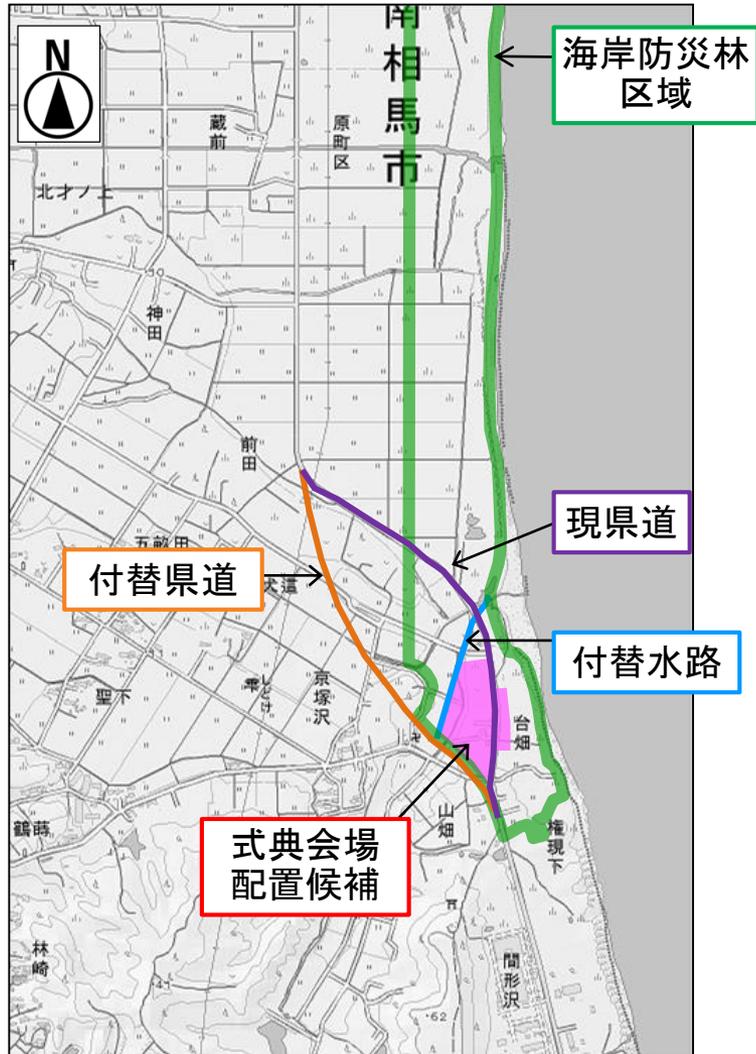
原町(萱浜・雫)地区内において、以下の条件で会場の配置を検討した。

< 会場の配置条件 >

- 津波で流出した海岸防災林の復旧の様子を見渡せるところ。(周囲より地盤高が高いところ。)
- 道路・水路など土地利用による制限がなく、式典広場として2.0ha程度が確保でき、かつ周辺施設(おもてなし広場等)の用地も確保できるところ。

式典会場配置案

他の海岸防災林の箇所よりも地盤高が高いこと、水路、道路等の土地利用状況から、以下の場所が適当と思われる。



南相馬市原町区雫字東坊志ほか
約 4.0ha

東経 141° 01' 18"
北緯 37° 36' 44"

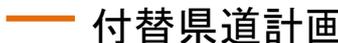
凡例

- 海岸防災林区域
- 付替水路計画(平成27年度に竣工予定)
- 付替県道計画(平成29年度に竣工予定)
- 現県道(全国植樹祭まで維持)

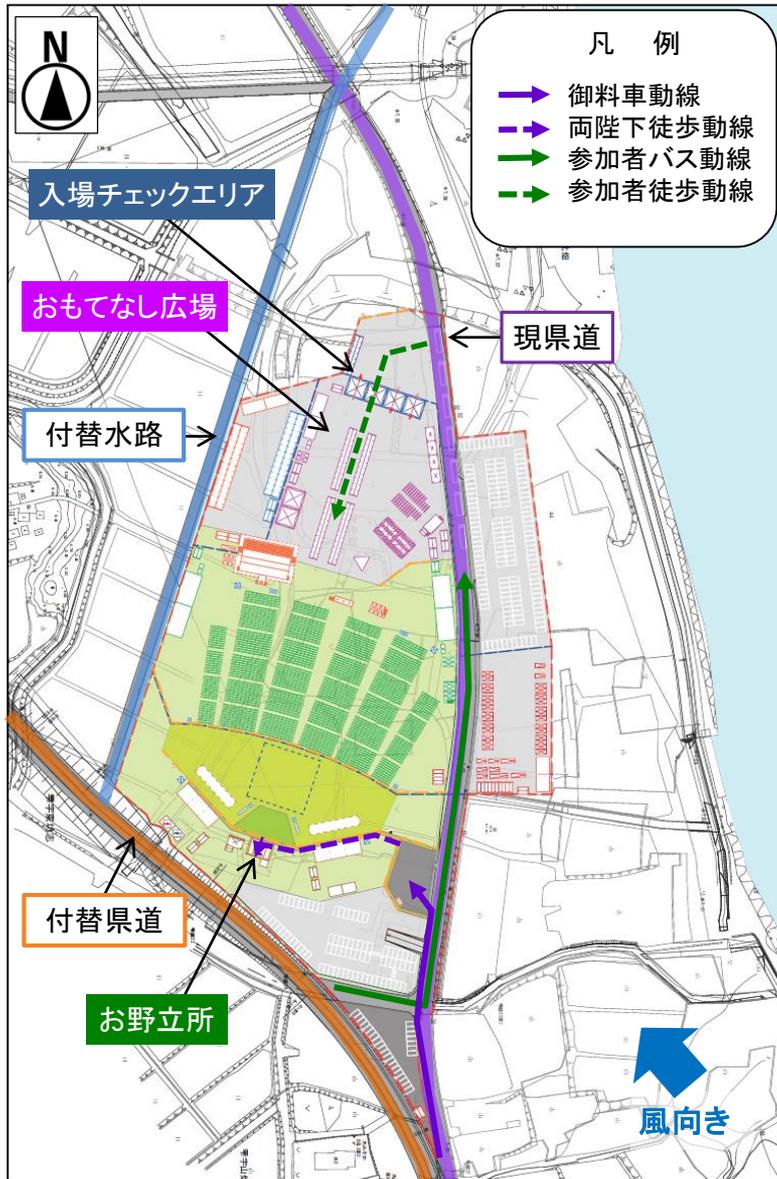
式典会場配置箇所を上空から見た写真



凡 例

- | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------|
|  | 式典会場配置候補 |  | 付替県道計画 |
|  | 海岸防災林区域 |  | 付替水路計画 |
| | |  | 現県道 |

施設配置計画



各施設が配置できるか	配置できる。
想定される両陛下の動線	動線が式典参加者と重ならない。
想定される式典参加者の動線	バス動線と徒歩動線が交差しない。
お野立所から海岸防災林を見渡せるか	見渡せる。
警備(セキュリティ)	両陛下ご到着箇所の警備がしやすい。
風向き	お野立所に風が吹き込まない。
日射(太陽高度)	お野立所に直射日光は入らない。(設計においても配慮)
バスの運行	現道に乗降場を設け、追加の整備が不要である。

検討結果

会場内各施設の配置条件を満たす位置

式典会場のおおまかな施設の配置を
図のとおりとしたい

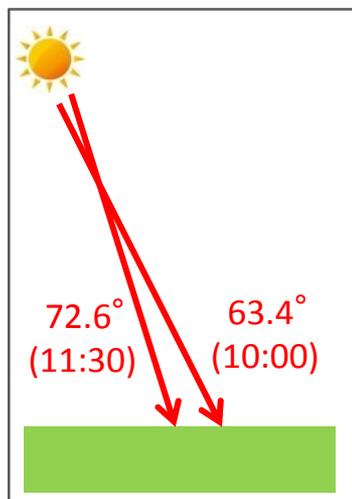


式典当日（平成30年5月末予定）における日射・風向き

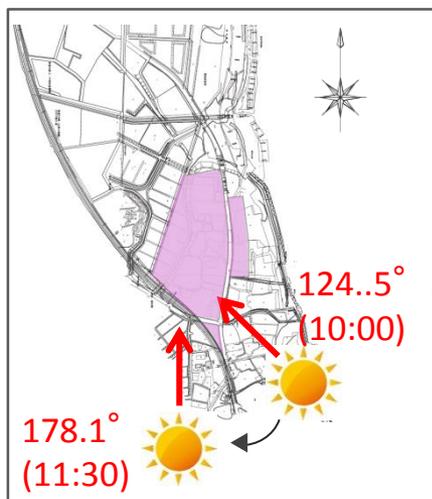
日射（平成30年5月20日想定）

想定式典時間帯 10:00～12:00

	入射角度	方位
最小高度 (10:00)	63.4°	124.5°
最大高度 (11:30)	72.6°	178.1°



入射角度

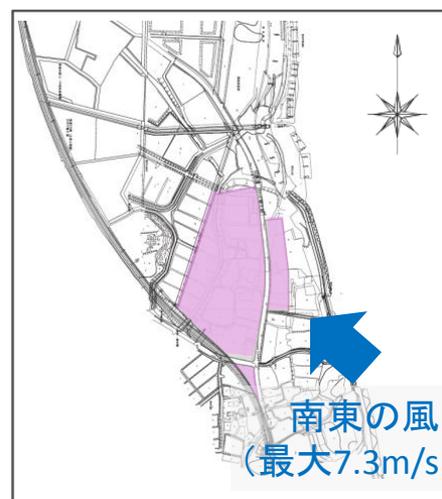


方位

風向き

- 最多風向き 南南東
- 平均風速 2.0m/s
- 最大風速 7.3m/s(南東)

(浪江観測所で観測された過去10年間の5月末のデータから算出)



風向き・風速